



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社浅沼組 上場取引所 東
コード番号 1852 URL <https://www.asanuma.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅沼 誠
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員戦略企画本部 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 浅沼 真里香 TEL 06(6585)5500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無(当社ウェブサイトに決算説明資料と動画を掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	115,300	3.3	5,316	103.1	5,371	95.8	3,511	120.6
2024年3月期第3四半期	111,612	7.1	2,617	△25.6	2,742	△26.3	1,591	△44.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,286百万円(12.0%) 2024年3月期第3四半期 2,934百万円(△28.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	43.56	—
2024年3月期第3四半期	19.75	—

(注) 当社は、2024年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	101,854	44,664	43.4
2024年3月期	101,251	48,705	47.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 44,247百万円 2024年3月期 47,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	203.00	203.00
2025年3月期	—	15.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2 当社は、2024年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っており、2024年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年3月期および2025年3月期(予想)については、当該株式分割後の金額を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,660	0.6	5,930	46.1	5,820	35.2	4,020	△13.9	49.82

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2 当社は、2024年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っており、2025年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	80,786,290株	2024年3月期	80,786,290株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	177,565株	2024年3月期	101,430株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	80,605,629株	2024年3月期3Q	80,569,267株

- (注) 当社は、2024年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8
3. 補足情報	P. 10
四半期個別受注の概況	P. 10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費や雇用、所得環境が改善に向かい、また、政府による各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、金融資本市場の変動、物価上昇、中東地域情勢、アメリカの今後の政策動向などの影響を十分に留意する必要があることなど、依然として景気の先行きは不透明な状態が続いております。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、企業の設備投資意欲は堅調で、オフィス・店舗・工場における需要の増加が見込まれる一方、大規模な物流施設等は、首都圏を中心に飽和状態にあり、着工床面積の大幅な減少が想定されます。これらの影響を受け、投資額につきましては、名目値ベースでは前年度比で増加、実質値ベースでは、前年度と同水準で推移すると思われれます。

このような状況の中、当社グループは、「中期3ヵ年計画(2024~2026年度)」をスタートさせてから3四半期が経過し、各施策を着実に遂行しております。3年間で注力する「6つのテーマ」を選定しておりますが、その一つである「ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理強化」における「株主・投資家とのコミュニケーションの強化」の一環で、新たに統合報告書「INTEGRATED REPORT 2024」を作成、公開し、当社の取り組みや戦略、財務・非財務情報を統合的に発信いたしました。「国内コア事業の強化」では引き続き作業所業務における生産性向上に向けた業務内容および社内ルール等の見直しや整備を行っております。また、当社のブランディング・PRの強化施策として、2025年4月に開幕する大阪・関西万博でのオランダパビリオンの施工を積極的にPRし、複数メディアにも露出、当社の取り組みを多くの方に発信することができました。

以上の結果、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の受注高は1,343億8百万円で、前年同期比5.6%の増加、売上高は1,153億円で前年同期比3.3%の増加、売上総利益は125億8千8百万円で前年同期比28.1%の増加となりました。

営業利益につきましては53億1千6百万円(前年同期比103.1%の増加)となりました。

経常利益につきましては53億7千1百万円(前年同期比95.8%の増加)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては35億1千1百万円(前年同期比120.6%の増加)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(建 築)

受注高は1,212億4千8百万円(前年同期比8.5%の増加)、売上高は978億3千8百万円(前年同期比3.6%の増加)となり、セグメント利益は101億6千5百万円(前年同期比42.4%の増加)となりました。

(土 木)

受注高は130億6千万円(前年同期比15.1%の減少)、売上高は151億9千8百万円(前年同期比2.2%の増加)となり、セグメント利益は18億8千1百万円(前年同期比6.6%の減少)となりました。

また、「その他」の事業につきましては、売上高22億6千2百万円(前年同期比2.2%の減少)、セグメント利益は3億3千5百万円(前年同期比30.8%の減少)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、847億2千7百万円となりました。これは、受取手形・完成工事未収入金等が52億9千4百万円、未成工事支出金が10億6千6百万円それぞれ増加した一方、現金預金が25億4千2百万円、未収入金が26億8千万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.0%減少し、171億2千6百万円となりました。これは、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が6億1千7百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、1,018億5千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.1%増加し、502億8百万円となりました。これは、短期借入金が80億円、未成工事受入金が18億9千2百万円それぞれ増加した一方、工事未払金が18億4千8百万円、未払法人税等が13億6千1百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、69億8千1百万円となりました。これは、社債が流動負債の1年内償還予定の社債への振替で2億1千万円、長期借入金が2億4千6百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8.8%増加し、571億8千9百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.3%減少し、446億6千4百万円となりました。これは、子会社であるEVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD.の株式を追加取得したことなどにより、資本剰余金が19億8千4百万円、非支配株主持分が6億6千5百万円それぞれ減少したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払などの結果、利益剰余金が9億7千3百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び足元の状況を鑑み、2025年3月期の業績につきましては、現時点で2024年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	13,031	10,488
受取手形・完成工事未収入金等	64,777	70,071
未成工事支出金	1,476	2,543
その他の棚卸資産	70	68
未収入金	3,119	439
その他	860	1,275
貸倒引当金	△105	△159
流動資産合計	83,229	84,727
固定資産		
有形固定資産	4,874	4,913
無形固定資産		
のれん	974	864
その他	2,000	2,087
無形固定資産合計	2,975	2,952
投資その他の資産		
投資有価証券	6,513	5,896
退職給付に係る資産	1,839	1,924
その他	2,335	1,955
貸倒引当金	△515	△515
投資その他の資産合計	10,172	9,260
固定資産合計	18,022	17,126
資産合計	101,251	101,854
負債の部		
流動負債		
工事未払金	17,605	15,757
短期借入金	6,460	14,460
1年内返済予定の長期借入金	4,626	4,634
1年内償還予定の社債	1,040	1,250
未払金	246	264
未払法人税等	2,390	1,029
未成工事受入金	4,197	6,089
完成工事補償引当金	614	676
工事損失引当金	319	100
その他	7,682	5,947
流動負債合計	45,181	50,208
固定負債		
社債	600	390
長期借入金	2,258	2,011
退職給付に係る負債	4,168	4,182
その他	337	398
固定負債合計	7,363	6,981
負債合計	52,545	57,189

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,614	9,614
資本剰余金	2,202	218
利益剰余金	32,499	31,525
自己株式	△64	△131
株主資本合計	44,251	41,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,398	1,877
為替換算調整勘定	846	1,044
退職給付に係る調整累計額	126	97
その他の包括利益累計額合計	3,371	3,019
非支配株主持分	1,083	417
純資産合計	48,705	44,664
負債純資産合計	101,251	101,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高		
完成工事高	109,298	113,037
その他の事業売上高	2,314	2,262
売上高合計	111,612	115,300
売上原価		
完成工事原価	100,144	100,989
その他の事業売上原価	1,644	1,721
売上原価合計	101,788	102,711
売上総利益		
完成工事総利益	9,153	12,047
その他の事業総利益	669	540
売上総利益合計	9,823	12,588
販売費及び一般管理費	7,205	7,271
営業利益	2,617	5,316
営業外収益		
受取利息	57	73
受取配当金	83	98
為替差益	127	66
持分法による投資利益	2	2
その他	71	98
営業外収益合計	342	339
営業外費用		
支払利息	83	108
支払手数料	93	99
支払保証料	29	26
貸倒引当金繰入額	—	46
その他	10	3
営業外費用合計	217	284
経常利益	2,742	5,371
特別利益		
固定資産売却益	16	5
その他	0	0
特別利益合計	16	6
特別損失		
固定資産売却損	4	3
減損損失	85	—
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	90	4
税金等調整前四半期純利益	2,669	5,372
法人税、住民税及び事業税	615	1,138
法人税等調整額	208	644
法人税等合計	823	1,783
四半期純利益	1,845	3,589
非支配株主に帰属する四半期純利益	253	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,591	3,511

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,845	3,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	554	△520
為替換算調整勘定	524	246
退職給付に係る調整額	9	△29
その他の包括利益合計	1,088	△302
四半期包括利益	2,934	3,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,598	3,160
非支配株主に係る四半期包括利益	335	126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	579百万円	612百万円
のれんの償却額	143	145

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	建 築	土 木	計				
売上高							
官庁	10,687	9,006	19,694	423	20,118	—	20,118
民間	75,840	5,700	81,541	424	81,965	—	81,965
海外	7,892	169	8,062	1,466	9,528	—	9,528
外部顧客への売上高(注4)	94,420	14,877	109,298	2,314	111,612	—	111,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	4	4	△4	—
計	94,420	14,877	109,298	2,318	111,616	△4	111,612
セグメント利益	7,136	2,013	9,150	484	9,635	△7,018 (注2)	2,617

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業及び不動産事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△7,018百万円には、セグメント間取引消去2百万円及び各事業セグメントに配分していない全社費用△7,020百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 「外部顧客への売上高」は、顧客との契約から生じる収益及びその他の収益が含まれております。その他の収益に重要性はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては85百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	建築	土木	計				
売上高							
官庁	8,889	8,595	17,484	440	17,924	—	17,924
民間	83,582	5,660	89,243	478	89,721	—	89,721
海外	5,366	942	6,309	1,344	7,653	—	7,653
外部顧客への売上高(注4)	97,838	15,198	113,037	2,262	115,300	—	115,300
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	4	4	△4	—
計	97,838	15,198	113,037	2,266	115,304	△4	115,300
セグメント利益	10,165	1,881	12,047	335	12,383	△7,066 (注2)	5,316

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業及び不動産事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△7,066百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各事業セグメントに配分していない全社費用△7,066百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 「外部顧客への売上高」は、顧客との契約から生じる収益及びその他の収益が含まれております。その他の収益に重要性はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

① 個別受注実績

	受注高	
2025年3月期第3四半期累計期間	124,813百万円	9.6%
2024年3月期第3四半期累計期間	113,931	15.6

(注) %表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(参考)受注実績内訳

区 分	2024年3月期 第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		2025年3月期 第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		比較増減			
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)		
建設事業	建築	官 庁	16,206	14.2	11,713	9.4	△4,492	△27.7
		民 間	84,828	74.5	100,055	80.2	15,227	18.0
		計	101,034	88.7	111,769	89.6	10,734	10.6
	土木	官 庁	8,575	7.5	9,276	7.4	701	8.2
		民 間	4,321	3.8	3,767	3.0	△553	△12.8
		計	12,896	11.3	13,044	10.4	147	1.1
合計	官 庁	24,781	21.7	20,990	16.8	△3,791	△15.3	
	民 間	89,150	78.3	103,823	83.2	14,673	16.5	
	計	113,931	100	124,813	100	10,882	9.6	

② 個別受注予想

	受注高	
2025年3月期予想	135,000百万円	△19.8%
2024年3月期実績	168,393	23.9

(注) %表示は、対前年同期増減率を示しております。

[個別受注実績に関する定性的情報]

当第3四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比9.6%増の1,248億1千3百万円となりました。部門別では、建築部門は官庁受注が減少し、民間受注が増加しました。土木部門では官庁受注が増加し、民間受注が減少しました。